第18期

株主通信

生活にファインクオリティ
sala

2018年12月1日から2019年11月30日まで

証券コード：2734

株式会社サーラコーポレーション

私のまちにSALA、暮らしとともにSALA

株主の皆さまへ

サーラグループは、創立110周年を迎えました。

代表取締役社長　神野吾郎

笑顔とともにサーラ

110th Anniversary

sala サーラグループ

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社グループにご支援を賜り、厚くお礼申しあげます。サーラグループは、おかげさまで2019年10月に創立110周年を迎えました。これもひとえに株主の皆さまをはじめ、関係者の皆さまの長年にわたるご支援の賜物と心より感謝申しあげます。

サーラグループはエネルギーを中心に長年にわたり培われたグループの総合力を発揮し、お客さまの豊かな暮らしや地域の活性化に向けて取り組んでまいりました。今後もグループとして持続的な成長を続け、地域の皆さまから信頼されるブランドであり続けるため、10年後のあるべき姿としてサーラグループ2030年ビジョンを定めるとともに、その取組みの第一歩として第４次中期経営計画（2020年11月期～2022年11月期）を策定し、これからの成長に向けて新たなスタートを切りました。（詳細は次ページからの「特集　第４次中期経営計画の概要」をご覧ください）

サーラグループは今後もステークホルダーの皆さまの笑顔のため、「SALA（サーラ）」に込められた“生活空間をより美しく快適に”という理念の下、事業活動を通じて豊かな社会の実現に貢献してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

特集　第４次中期経営計画（2020年11月期～2022年11月期）の概要

テーマ　サーラ元年・これからの成長のスタート

サーラグループは、第１次から第３次中期経営計画（2011年11月期～2019年11月期）の期間において、次なる時代の成長を見据えた基盤づくりを目標に改革を進めました。

2019年12月にはエネルギー＆ソリューションズセグメント内における事業再編が完了し、ひとつのサーラとして暮らしとエネルギーサービスを地域ごとに展開する体制が整いました。また、BtoC分野に携わるグループ各社の社名が概ねサーラに統一されたことから、私たちは第４次中期経営計画をサーラ元年と位置づけています。

サーラグループ各社は、お客さまに提供する商品・サービスの質の向上に取り組みお客さまの信頼を獲得するとともに、お客さまのニーズに対して社員の力を結集できるよう事業の枠組みを見直します。また、社員一人ひとりが意識と行動を変革し、これからの成長に向けたスタートを切ります。

重点課題 1

暮らしのSALAの新展開

施策

ライフクリエイティブ事業ユニット、エネルギーベース事業ユニット及びつなぐ事業ユニットの３事業ユニットという新たな枠組みの下でサーラとしてお客さまと向き合い、お客さまのニーズに応えます。

（※事業ユニットに関する説明は３ページをご覧ください。）

重点課題 2

SALAの浸透

施策

商品・サービスと業務プロセスをより良くすることでお客さまとのつながりを深め、信頼を築くことにより、サーラを地域に広く浸透させます。

重点課題 3

変革とチャレンジ

施策

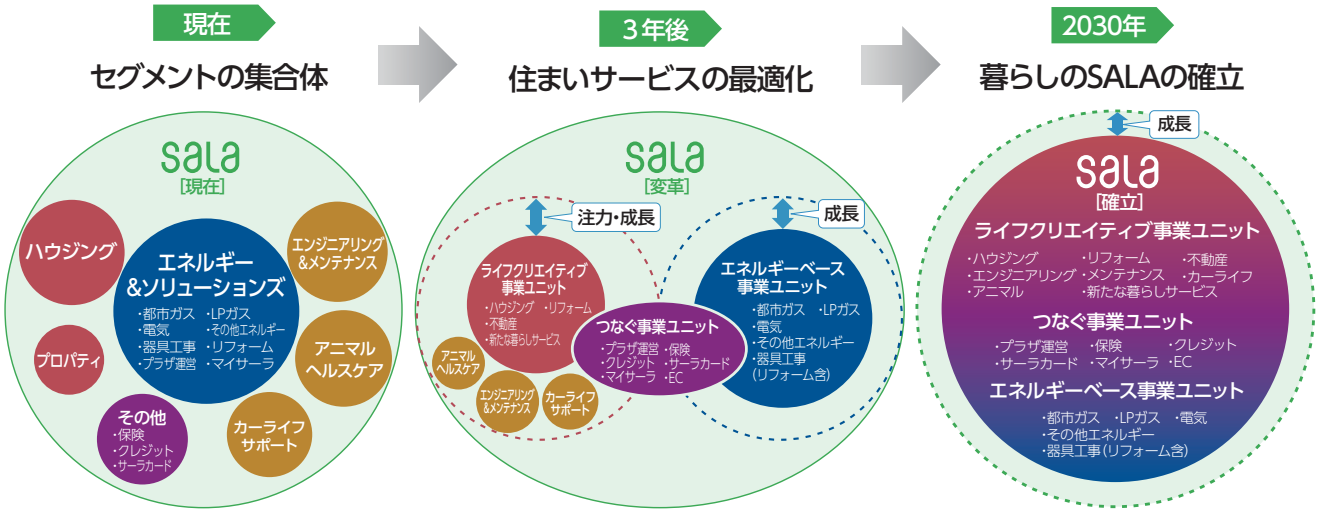
グループの持続的成長を支える人事制度の構築や自ら考えチャレンジする風土づくりに取り組みます。

重点課題１　暮らしのSALAの新展開

３年後に「住まいサービスの最適化」を実現

これから注力する領域を明確にするため、セグメントを束ねる概念として、ライフクリエイティブ事業ユニット、エネルギーベース事業ユニット、つなぐ事業ユニットを設定します。

今後３年間で住まいサービスを最適化し、2030年には事業ユニットの枠を超えた総合力を発揮し、暮らしの新しい価値を提供します。



ライフクリエイティブ事業ユニット

住まいや不動産などセグメントの枠を超えて、各セグメントに点在する暮らしに関する商品・サービスを集約しサーラの暮らしサービスとして展開するとともに、暮らしにおける新たな価値を生み出します。

エネルギーベース事業ユニット

地域販社体制に基づき、地域の特性に合わせたエネルギーを中心とする暮らしサービスを展開し、お客さまとのつながりを深め安定的な成長を目指します。

つなぐ事業ユニット

お客さまとサーラのつながりを長期にわたり確かなものにするとともに、各事業ユニットを結びつける役割を担います。サーラプラザの運営を統括しお客さま窓口としての機能を担うほか、WEB接点の運営を行います。

重点課題２　SALAの浸透

（1）新規取引先の拡大

サーラグループ各社において、新規取引先の拡大に積極的に取り組みます。また、各事業ユニットにおけるお客さまをグループ全体のお客さまとすることにより、お客さまとサーラのつながりを深めます。

事業ユニット別に以下の指標を設定し、新規取引先の拡大に向けた施策に取り組みます。

ライフクリエイティブ事業ユニット

指標	2019年	2022年
新築戸建住宅引渡件数	520件	657件
輸入車販売管理顧客数	24,363件	26,100件
動物医薬品販売シェア	22.2%	24.0%

エネルギーベース事業ユニット

指標	2019年	2022年
ガスお客さま件数	445千件	458千件
電気お客さま件数	41千件	71千件
エネルギー開発量（45MJ換算）	31百万㎥	47百万㎥

（2）質の向上

商品力や認知度、お客さま接点の機会、サービス力などに関する指標を設け、質の向上に取り組みサーラブランドの浸透に努めます。

（3）社会価値向上

サーラグループ全体でSDGsの枠組みに則り、具体的な目標を設定し事業活動を通じて社会課題の解決に取り組みます。また、地域貢献活動やコーポレートガバナンス強化に取り組みます。

経営数値目標

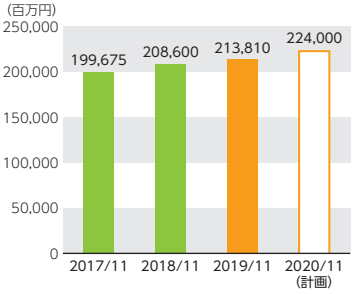
2019年11月実績比で３年後の**2022年11月期**には売上高9.9%増、営業利益28.1%増を目指します。

売上高 2,350億円　**営業利益 70億円**　**営業利益率 3.0%**

連結業績ハイライト

売上高

213,810百万円
（前期比2.5%増）
過去最高

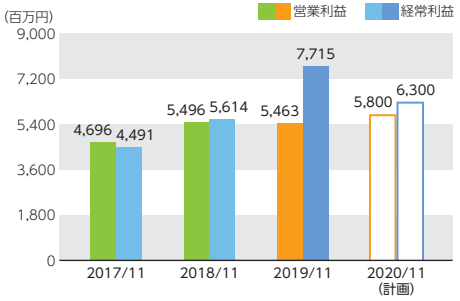


営業利益

5,463百万円
（前期比0.6%減）

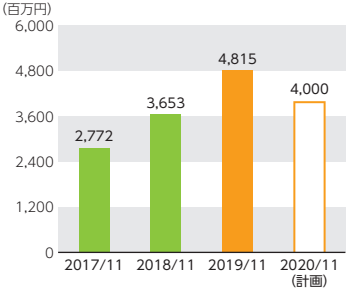
経常利益

7,715百万円
（前期比37.4%増）
過去最高



親会社株主に帰属する当期純利益

4,815百万円
（前期比31.8%増）



▶ 連結決算のポイントは９～10ページをご覧ください

配当について

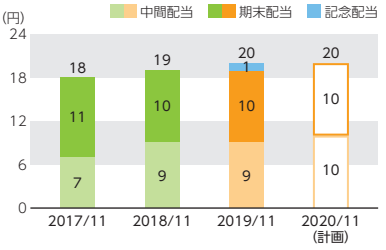
当社は、配当の基本方針を次のとおり定めております。

為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除く連結配当性向30%を目途として配当を行います。

年間配当金

20円
（前期比 **１円増**）

６期連続の増配

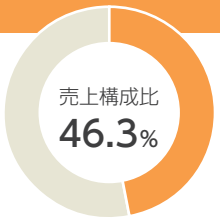


当期の期末配当につきましては、上記の基本方針に基づき普通配当は10円とし、これにサーラグループ創立110周年を記念する記念配当１円を加え、１株当たり11円といたしました。年間配当金は中間配当金９円と合わせて１株当たり20円となります。

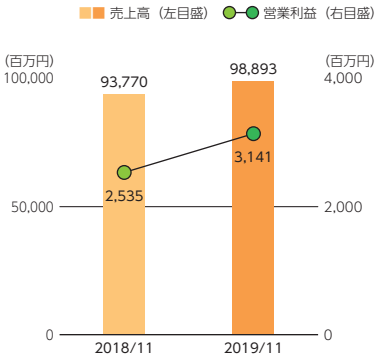
なお、為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除いた連結配当性向は32.9%です。

事業セグメント別の概況

エネルギー＆ソリューションズ事業



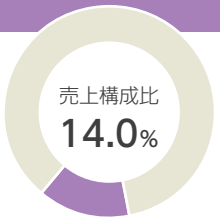
売上高	98,893百万円	（前期比	5.5%増）
営業利益	3,141百万円	（前期比	23.9%増）



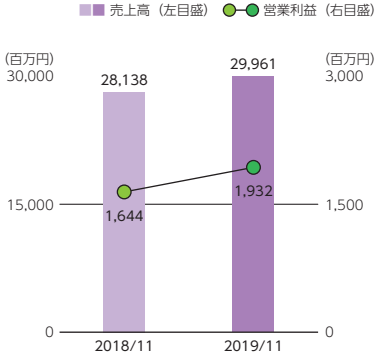
業績の概要

- 需要期である冬期の平均気温が高めに推移したため、都市ガス、LPガスともに家庭用、業務用の販売量は減少しました。
- 原料価格の上昇に伴う都市ガス販売価格の調整やサーラの電気のお客さま数増加に加え、バイオマス発電所が稼働を開始したことに伴い売上高は増加しました。
- ◆ 地域販社を通じてお客さまへ暮らしとエネルギーに関する総合生活サービスを提供するとともに、エネルギーシェア拡大に取り組みます。

エンジニアリング＆メンテナンス事業



売上高	29,961百万円	（前期比	6.5%増）
営業利益	1,932百万円	（前期比	17.6%増）



業績の概要

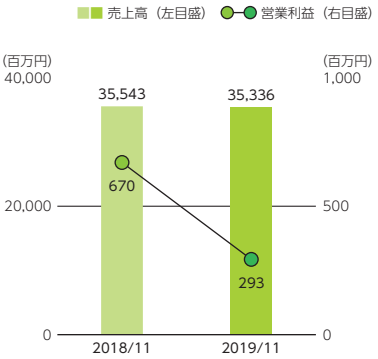
- 土木部門において大型物件の完成工事が増加したほか、メンテナンス部門においてリニューアル工事が増加しました。
- 土木部門の完成工事高の増加に加え、各部門において効率化を推進したことにより利益率が高い水準を維持したため、営業利益は増加しました。
- ◆ お客さまとの新たな関係づくりによる取引拡大と、プロセス管理の徹底による継続的な改善活動に取り組みます。

ハウジング事業

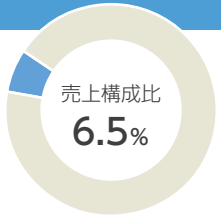
売上高	**35,336**百万円	（前期比　0.6%減）
営業利益	**293**百万円	（前期比　56.2%減）

業績の概要

- 住宅販売部門は、注文住宅の販売は堅調に推移したものの、分譲住宅の販売棟数が減少しました。
- 住宅部資材加工・販売部門は、事業エリアにおける好調な市況を背景に大口取引先からの受注が増加しました。
- 新商品の開発、商品デザインの向上、分譲用地の確保及び集客力の向上などにより注文住宅、分譲住宅の販売強化を図ります。



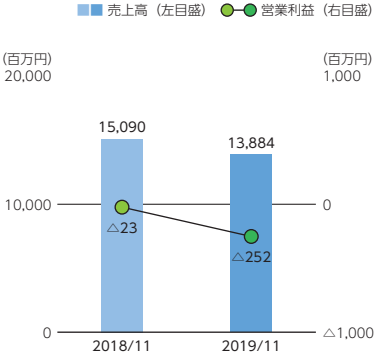
カーライフサポート事業



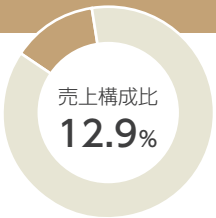
売上高	**13,884**百万円	（前期比　8.0%減）
営業利益	**△252**百万円	（前期は営業利益△23百万円）

業績の概要

- 中古車販売の強化に継続的に取り組んだことにより、フォルクスワーゲン、アウディともに中古車の販売台数は増加しました。
- 新型モデルの投入時期の延期や主力車種の一時的な出荷停止の影響などから新車販売台数は減少しました。
- 各店舗においてお客さま満足度の向上に努めるほか、サービス部門の技術レベル向上に取り組みます。



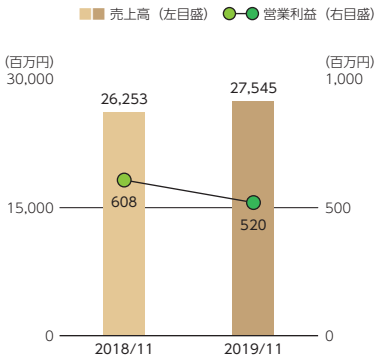
アニマルヘルスケア事業



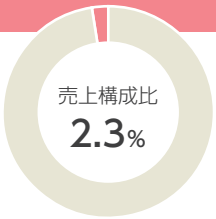
売上高	27,545百万円	（前期比　4.9%増）
営業利益	520百万円	（前期比　14.5%減）

業績の概要

- 畜産部門、ペット関連部門ともに動物用医薬品の販売が堅調に推移しました。また、豚コレラ発生に伴い防疫関連商材の販売が伸長しました。
- 東日本エリアにおいて競争の激化に伴い利益率が低下したことなどにより営業利益は減少しました。
- 成長が見込まれる重点エリアにおける新規出店、M＆Aなどに取り組み、事業規模のさらなる拡大を目指します。



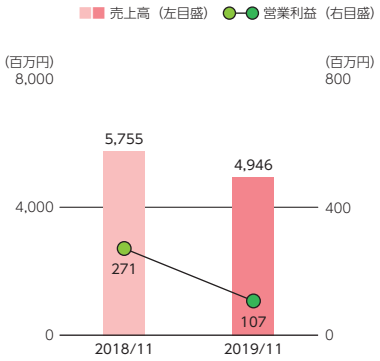
プロパティ事業



売上高	4,946百万円	（前期比　14.1%減）
営業利益	107百万円	（前期比　60.5%減）

業績の概要

- 不動産仲介、資産マネジメントの両部門は堅調に推移しましたが、分譲部門は土地の仕入れ件数が減少したため前期実績を下回りました。
- ホスピタリティ部門のホテルアークリッシュ豊橋は、ブライダルの挙式組数が減少しました。
- ITシステムの導入により取扱い情報量の増加及び処理能力の改善を図り事業競争力の強化を図ります。



連結決算の概況

連結貸借対照表（要旨）

［単位：百万円］

科　目	当　期 2019年11月30日	前　期 2018年11月30日
資産の部		
流動資産	**84,019**	70,716
固定資産	**111,097**	106,647
有形固定資産	**87,100**	84,814
無形固定資産	**1,865**	1,568
投資その他の資産	**22,131**	21,549
1 資産合計	**195,117**	178,648
負債の部		
流動負債	**77,030**	64,154
固定負債	**58,419**	59,154
2 負債合計	**135,449**	123,308

［単位：百万円］

科　目	当　期 2019年11月30日	前　期 2018年11月30日
純資産の部		
株主資本	**58,011**	54,018
資本金	**8,025**	8,025
資本剰余金	**25,183**	25,183
利益剰余金	**27,453**	23,892
自己株式	**△2,649**	△3,082
その他の包括利益累計額	**497**	193
その他有価証券評価差額金	**929**	915
繰延ヘッジ損益	**64**	11
退職給付に係る調整累計額	**△495**	△733
非支配株主持分	**1,158**	1,127
3 純資産合計	**59,667**	55,339
負債純資産合計	**195,117**	178,648

連結決算のポイント

1 資　産

資産は195,117百万円と、前期末と比較して16,468百万円増加しました。これは主に、「現金及び預金」が4,263百万円増加したこと、「商品及び製品」が4,121百万円増加したこと、「有形固定資産」が2,286百万円増加したことによるものです。

2 負　債

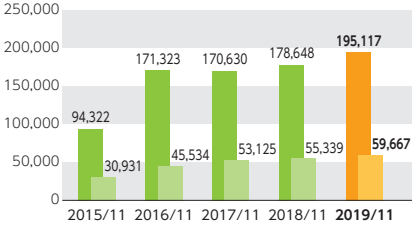
負債は135,449百万円と、前期末と比較して12,141百万円増加しました。これは主に、「短期借入金」が5,010百万円増加したこと、「支払手形及び買掛金」が2,632百万円増加したことによるものです。

3 純資産

純資産は59,667百万円と、前期末と比較して4,327百万円増加しました。これは主に、「利益剰余金」が3,560百万円増加（親会社株主に帰属する当期純利益の計上により4,815百万円増加、配当の実施により1,254百万円減少）したことによるものです。

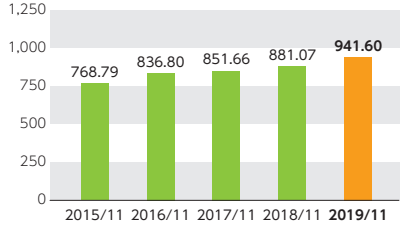
財務ハイライト

総資産・純資産



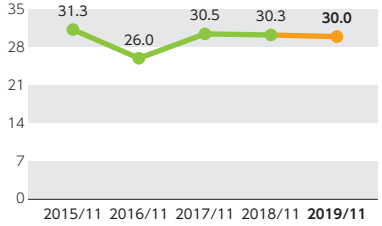
1株当たり純資産

（単位：円）



自己資本比率

（単位：%）



連結損益計算書（要旨）

[単位：百万円]

	科　目	当　期 2018年12月1日～ 2019年11月30日	前　期 2017年12月1日～ 2018年11月30日
4	売上高	**213,810**	208,600
	売上原価	**158,516**	154,504
	売上総利益	**55,293**	54,095
	販売費及び一般管理費	**49,830**	48,598
5	営業利益	**5,463**	5,496
	営業外収益	**2,515**	731
	営業外費用	**262**	613
6	経常利益	**7,715**	5,614
	特別利益	**104**	56
	特別損失	**454**	137
	税金等調整前当期純利益	**7,365**	5,532
	法人税、住民税及び事業税	**2,792**	1,786
	法人税等調整額	**△279**	△40
	当期純利益	**4,852**	3,786
	非支配株主に帰属する当期純利益	**36**	132
6	親会社株主に帰属する当期純利益	**4,815**	3,653

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

[単位：百万円]

科　目	当　期 2018年12月1日～ 2019年11月30日	前　期 2017年12月1日～ 2018年11月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	**7,252**	5,528
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△10,027**	△7,713
財務活動によるキャッシュ・フロー	**6,345**	3,416
現金及び現金同等物の増減額	**3,570**	1,231
現金及び現金同等物の期首残高	**18,218**	16,986
現金及び現金同等物の期末残高	**21,788**	18,218

4 売上高

都市ガス販売価格の調整などによりエネルギー＆ソリューションズ事業の業績が前期実績を上回ったことに加え、エンジニアリング＆メンテナンス事業の土木部門の完成工事高が増加したため、売上高は213,810百万円（前期比2.5％増加）となりました。

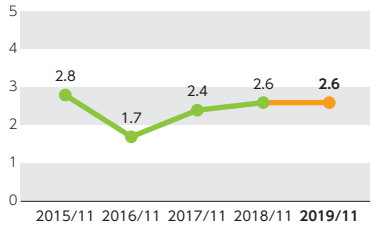
5 営業利益

エネルギー＆ソリューションズ事業及びエンジニアリング＆メンテナンス事業は順調に推移しましたが、その他のセグメントは減益となったため営業利益は5,463百万円と前期並み（前期比0.6％減少）となりました。

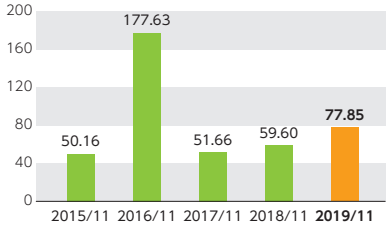
6 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益

前期は為替予約に係るデリバティブ評価損を計上しましたが、当期は同評価益1,510百万円に転じたことにより、経常利益は7,715百万円（前期比37.4％増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は4,815百万円（前期比31.8％増加）となりました。

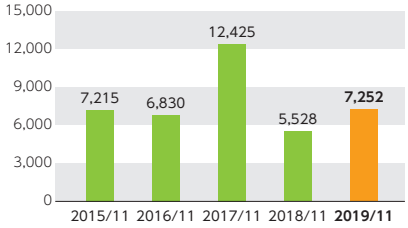
売上高営業利益率　（単位：%）



1株当たり当期純利益　（単位：円）



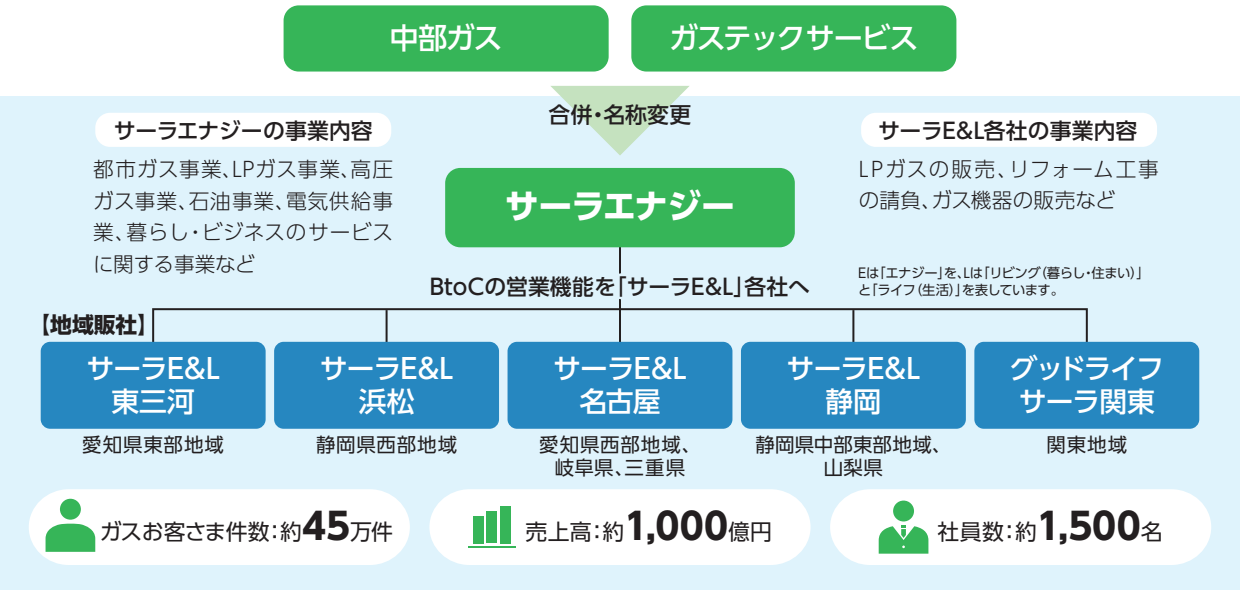
営業活動によるキャッシュ・フロー　（単位：百万円）



トピックス

サーラエナジー誕生

2019年12月１日、中部ガス（株）とガステックサービス（株）の合併によりサーラエナジー（株）が誕生しました。また、同日付でサーラエナジー（株）は地域販社４社に事業の一部を承継しました。グッドライフサーラ関東（株）を加えた地域販社５社は、各地域におけるサーラの窓口としてこれまで以上にお客さまと向き合い、地域に根差した総合生活サービスを提供します。



一般家庭・商業・業務用のお客さま
暮らしのSALA

暮らしの総合窓口は
「サーラE&L」「グッドライフサーラ関東」

サーラの総合窓口として、お客さまにガス・電気などのエネルギーと暮らし・住まいに関する総合生活サービスを提供します。

法人のお客さま
ビジネスのSALA

ビジネスの総合窓口は
「サーラエナジー」

ガス・電気・石油などのエネルギー供給に加え、お客さまの事業課題に対するソリューションサービスを提供します。

アレルギーに配慮した住まい「Best-air+」販売開始

サーラ住宅(株)は、創立50周年を記念する新商品「Best-air+(ベステア・プラス)」を発表し、販売を開始しました。住まいの造り手として、社会問題であるアレルギー対策について考え、住宅全体の構想・設計、採用する建材の１つひとつに至るまで科学的な見地から追求し、開発を行いました。

本商品は、空気中のアレルゲン物質の体内への侵入と接触頻度を減らすため、最新の科学的知見に基づき住環境における総合的なアレルギー対策を実現した商品です。

(※本商品はアレルギーに配慮した住まいづくりを目指すものであり、アレルギー疾患が治ることを保証するものではありません。)

「Best-air+」を体感することができる豊田大林展示場(愛知県豊田市)

動物用医薬品卸売２社を子会社化

(株)アスコは、2019年９月に同業の(株)エイ・エム・アイ(千葉県山武市)とホクヤク(株)(北海道札幌市)の株式を取得し、子会社化しました。

動物用医薬品卸売業界では、畜産分野は生産者の高齢化、小規模農家の廃業により販売先が減少しています。また、ペット関連分野はペット頭数が頭打ちになるなか、同業者間の競争が激しくなっています。

このような状況のなか、(株)アスコは両社の子会社化により北関東エリアにおけるシェアを拡大するとともに、北海道エリアへ進出する足掛かりを確保し、業界におけるさらなるシェアアップを目指します。

(株)エイ・エム・アイ

所在地	千葉県山武市
代表者	代表取締役　勝又　　明
資本金	36百万円
売上高	1,154百万円(2019年11月期)

ホクヤク(株)

所在地	北海道札幌市
代表者	代表取締役　舟津　充洋
資本金	60百万円
売上高	786百万円(2019年11月期)

会社一覧（2020年１月31日現在）

サーラグループは、当社、当社連結子会社39社及び非連結子会社７社で構成されています。

サーラグループ各社は、今後も共通の基本理念の下、互いに連携し、より一層お客さまの暮らしや地域社会に根ざした事業を展開していきます。

エネルギー＆ソリューションズ事業

事業内容　都市ガス、LPガス、石油製品、高圧ガス及び関連機器の販売、電気供給事業、リフォーム、エネルギー輸送

事業エリア　愛知、静岡、岐阜、神奈川など１都11県

サーラエナジー（株）
サーラE＆Lサポート（株）
（株）リビングサーラ
※非連結子会社３社

サーラE＆L東三河（株）
サーラeエナジー（株）
サーラの水（株）

サーラE＆L浜松（株）
サーラeパワー（株）
三河湾ガスターミナル（株）

サーラE＆L名古屋（株）
グッドライフサーラ関東（株）
（株）日興

サーラE＆L静岡（株）
サーラ物流（株）
神野オイルセンター（株）

エンジニアリング＆メンテナンス事業

事業内容　都市インフラ整備、設備工事・メンテナンス

事業エリア　愛知、静岡、東京、宮城

（株）中部
（株）鈴木組
テクノシステム（株）
※非連結子会社４社

神野建設（株）
（株）中部技術サービス
西遠コンクリート工業（株）

ハウジング事業

事業内容　注文住宅の請負、建物のリフォーム請負、建築資材・住設機器等の販売

事業エリア　愛知、静岡、三重、神奈川

サーラ住宅（株）
太陽ハウジング（株）
サーラハウスサポート（株）

中部ホームサービス（株）
（株）宮下工務店
エコホームパネル（株）

カーライフサポート事業

事業内容　フォルクスワーゲン９店舗・アウディ３店舗（正規ディーラー）、車検・整備、オートリース

事業エリア　愛知、静岡、東京

サーラカーズジャパン（株）

アニマルヘルスケア事業

事業内容　ペット用医薬品・療法食、動物用医薬品、畜産用機械設備、小動物医療機器の販売

事業エリア　愛知、埼玉、広島、宮城など１都２府15県

（株）アスコ
ホクヤク（株）

（株）エイ・エム・アイ
大和医薬品工業（株）

プロパティ事業

事業内容　不動産事業、ホテル事業、飲食店事業、スポーツクラブ運営

事業エリア　愛知、静岡

中部ガス不動産（株）
（株）サーラホテル＆レストランズ

サーラスポーツ（株）

その他の事業

事業内容　割賦販売及びリース、情報処理　等

事業エリア　愛知、静岡

サーラフィナンシャルサービス（株）
新協技研（株）

（株）サーラビジネスソリューションズ
（株）サーラライフスタイルイノベーション

会社の概要及び株式の状況（2019年11月30日現在）

商　　号	**株式会社サーラコーポレーション**
設　　立	2002年５月１日
本社所在地	豊橋市駅前大通一丁目55番地 サーラタワー
資 本 金	80億2,500万円
証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部
役　　員	代表取締役会長　中村捷二 代表取締役社長　神野吾郎 代表取締役専務　松井和彦 取締役　鳥居　裕 取締役　山口信仁 取締役　樗林孝尚 取締役（社外）　一柳良雄 取締役（社外）　石黒和義 監査役（常勤）　山本卓治 監査役（社外）　杉井　孝 監査役（社外）　村松奈緒美
従業員数	4,037名（連結）

発行可能株式総数 …… 120,000,000株

発行済株式総数 …… 66,041,147株
（自己株式9,602株を含む）

1単元の株式数 …… 100株

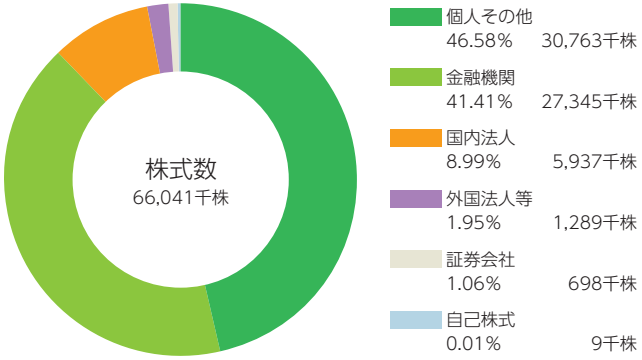
株主数 …… 12,230名

大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
サーラコーポレーション従業員持株会	4,321	6.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	3,061	4.63
三井住友信託銀行株式会社	2,920	4.42
株式会社三菱UFJ銀行	2,592	3.92
株式会社静岡銀行	2,180	3.30
ガステックサービス共栄会	2,168	3.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口４）	1,601	2.42
株式会社三井住友銀行	1,414	2.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,386	2.09
野村信託銀行株式会社（サーラコーポレーション従業員持株会専用信託口）	1,369	2.07

● 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

所有者別株式分布



株主メモ

事業年度
12月１日～翌年11月30日

定時株主総会
毎年２月中

基準日
定時株主総会の議決権・期末配当　11月30日
中間配当　５月31日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関
〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目４番１号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所
〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

郵便物送付先
〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目８番４号
三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

電話照会先
0120-782-031

取次窓口
三井住友信託銀行株式会社　全国本支店

公告方法
電子公告（当社ホームページに掲載します）
https://www.sala.jp/
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

お問合せ先
株式会社サーラコーポレーション
総務部 総務グループ　☎0532-51-1182　E-mail：ir@sala.jp

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。